

<毎月決算型>


第84期末 (2020年7月20日)	
基準価額	7,242円
純資産総額	55億円
第79期～第84期 (2020年1月21日～2020年7月20日)	
騰落率	△17.7%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第14期末 (2020年7月20日)	
基準価額	11,173円
純資産総額	21億円
騰落率	△17.7%
分配金	0円


商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

 **ニッセイアセットマネジメント株式会社**  
東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ 世界高配当株ファンド

(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2020年1月21日～2020年7月20日

<毎月決算型>

第79期 (決算日2020年2月20日) 第82期 (決算日2020年5月20日)  
第80期 (決算日2020年3月23日) 第83期 (決算日2020年6月22日)  
第81期 (決算日2020年4月20日) 第84期 (決算日2020年7月20日)

<年2回決算型>

第14期 (決算日2020年7月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2020年7月20日に決算を行いました。

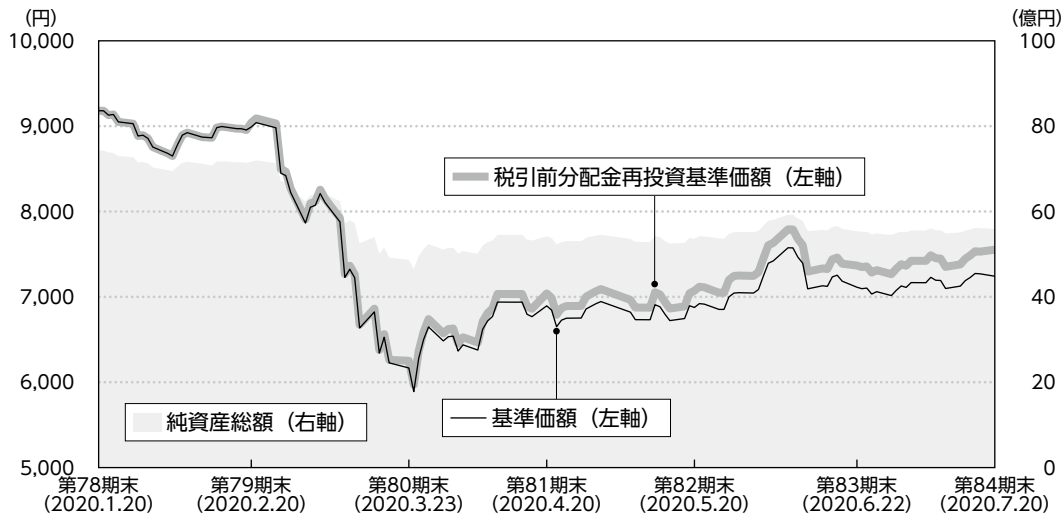
各ファンドは、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート(不動産投資信託)等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 運用経過

2020年1月21日～2020年7月20日

## 基準価額等の推移



第79期首	9,181円	既払分配金	300円
第84期末	7,242円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△17.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・ 3月下旬以降、景気の悪化や新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした経済活動の停滞を支えするため、世界の主要中央銀行による金融緩和や前例のない資金供給策に加えて、各国政府による大規模な経済対策が実施され株価が上昇したこと
- ・ 4月以降、欧米における経済活動の再開や新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発が期待され株価が上昇したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・ 2月下旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて各国で移動制限が実施されるなど経済活動への多大な影響から株価が大きく下落したこと
- ・ 3月にサウジアラビアとロシアの原油生産を巡る対立から原油価格が大幅に下落したことにより石油関連企業の信用リスク不安が高まったこと
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響を受けて、多くの企業が減配や配当支払いの延期などを実施したこと
- ・ 2月下旬以降、米中対立の激化などに加えて、米連邦準備制度理事会（FRB）の大規模な金融緩和により金利差が縮小したことなどから米ドル安円高が進行したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第79期～第84期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,378円です。
（投信会社）	(12)	(0.165)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(32)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	( 0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	46	0.620	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

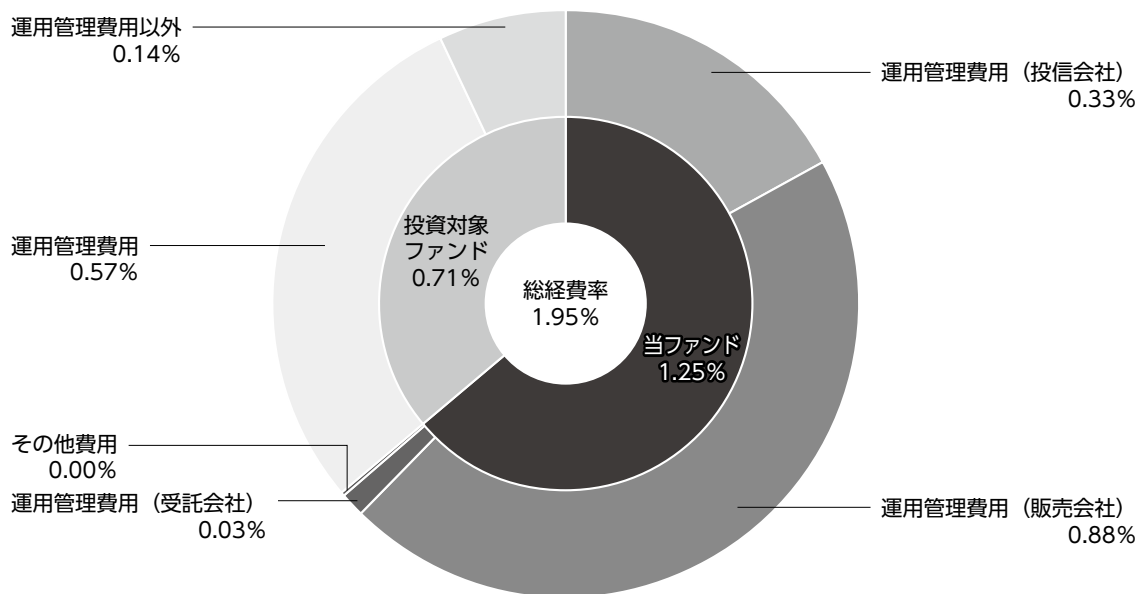
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.95%**です。



総経費率（①+②+③）	1.95%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

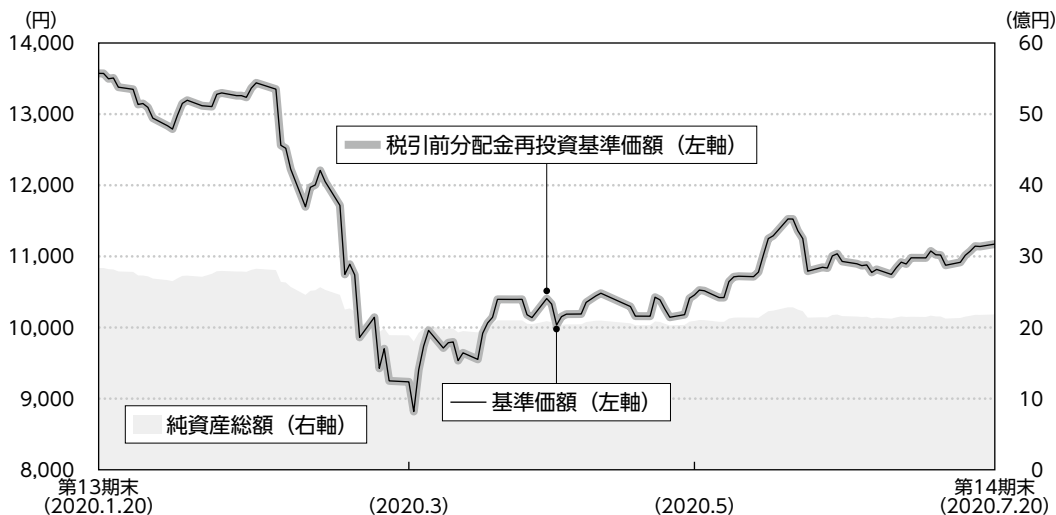
（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第14期首	13,573円	既払分配金	0円
第14期末	11,173円	騰落率(分配金再投資ベース)	△17.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬以降、景気の悪化や新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした経済活動の停滞を下支えするため、世界の主要中央銀行による金融緩和や前例のない資金供給策に加えて、各国政府による大規模な経済対策が実施され株価が上昇したこと
- ・ 4月以降、欧米における経済活動の再開や新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発が期待され株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 2月下旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて各国で移動制限が実施されるなど経済活動への多大な影響から株価が大きく下落したこと
- ・ 3月にサウジアラビアとロシアの原油生産を巡る対立から原油価格が大幅に下落したことにより石油関連企業の信用リスク不安が高まったこと
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響を受けて、多くの企業が減配や配当支払いの延期などを実施したこと
- ・ 2月下旬以降、米中対立の激化などに加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)の大規模な金融緩和により金利差が縮小したことなどから米ドル安円高が進行したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	68円	0.615%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,137円です。
(投信会社)	(18)	(0.164)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(49)	(0.437)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	69	0.618	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

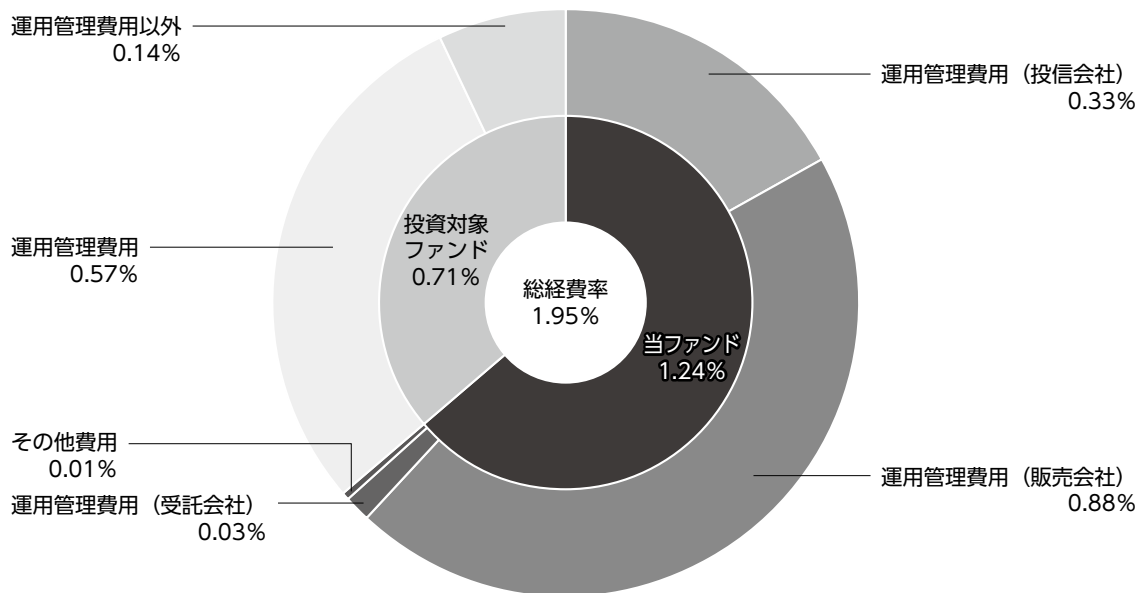
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.95%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.95%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

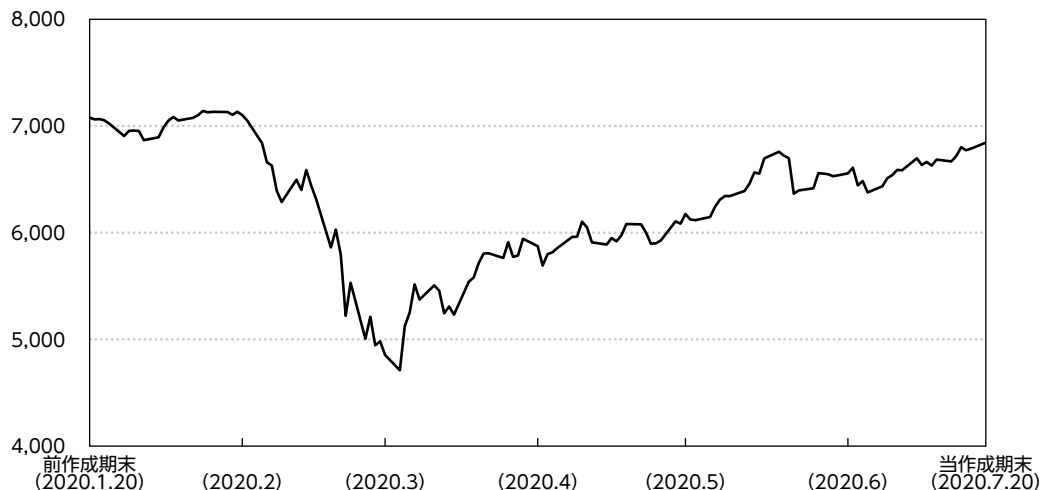
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【MSCI World (配当込み、米ドルベース) の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当作成期の世界株式市場は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が経済活動へ支障をきたす事態となったことなどから下落しました。

2月下旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて各国で移動制限が実施されるなど経済活動へ支障をきたす事態となったことや、サウジアラビアとロシアの原油生産を巡る対立から原油価格が大幅に下落したことにより石油関連企業の信用リスク不安が高まるなど、世界的な経済危機が懸念されたことから株価は急落しました。その後、米国を中心に経済対策や前例のない資金供給策等が実施されたことに加えて、経済活動正常化への期待、新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発期待などから株価は反発基調となりました。しかし、依然として新型コロナウイルスの感染拡大は続いており、経済活動正常化への不透明な状況が続いていることや、米中対立が激しさを増していることなどから、株価は上昇しながらも値動きの激しい展開となりました。



## ポートフォリオ

### ■各ファンド

当作成期も外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

\*現地における当作成期末の前営業日基準についての説明です。

#### <個別銘柄>

主に日本を含む各国の株式およびリート等に分散投資し、予想配当利回り、配当政策、流動性および個別企業分析・株価評価等を勘案してポートフォリオを構築しました。

当作成期末においても、配当利回りが相対的に高い銘柄を保有しています。半導体専門ICファンドリーメーカー（半導体チップの製造を専門に行う企業）、医薬品メーカー、飲料メーカー、通信サービス会社など、現環境下においても強固なビジネス基盤や内部の自助努力、キャッシュフローと高い配当が見込まれ、優れた経営戦略を有し、今後の利益成長も期待できる企業を中心に上位に保有しています。

#### <国・地域別配分>

当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（40.5%）、イギリス（13.0%）、台湾（8.3%）としています。（注1）国、地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

#### <業種配分>

当作成期末では、現環境下においても安定した業績が見込める通信サービス会社などのコミュニケーション・サービス、研究開発パイプライン（新薬候補）と株主還元バランスが取れた大手医薬品メーカーを中心としたヘルスケア、クラウド・データセンター向けなどのエンド市場の成長を背景に高い需要が見込まれている半導体などの関連企業を中心とした情報技術の組入比率が高いポートフォリオとしています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

### ■毎月決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

### ■年2回決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■ 毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2020年1月21日 ～ 2020年2月20日	2020年2月21日 ～ 2020年3月23日	2020年3月24日 ～ 2020年4月20日	2020年4月21日 ～ 2020年5月20日	2020年5月21日 ～ 2020年6月22日	2020年6月23日 ～ 2020年7月20日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.55%	0.80%	0.72%	0.72%	0.70%	0.69%
当期の収益	50円	50円	50円	50円	50円	50円
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,860円	2,879円	2,906円	2,928円	2,954円	2,980円

### ■ 年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2020年1月21日～2020年7月20日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,047円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響を受けて、多くの企業が減配や配当支払いの延期などを実施しています。当ファンドの高配当銘柄は現環境下においても強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）も魅力的な水準にあると判断しています。特に、過度な財務レバレッジ（借入金などを利用して多くの資金を事業に投下すること）がかかっておらず、着実なキャッシュフローの創出で配当支払いをしっかりとカバーでき、今後の配当成長と利回りのバランスがとれた銘柄を選別していくことが重要であると考えています。

このような環境のもと、依然として新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした不透明感が続く中、先進国株式市場においては確かな経営執行能力を持つ企業への厳選した投資が必要であると考えています。一方、新興国株式市場においては魅力ある成長性とバリュエーションを持つ企業への選別投資が必要であると考えており、そのためには業績の裏付けがある個別企業の成長性や、豊富な手元流動性（すぐに支払いにあてることのできる資産）の有効活用など、企業の資本政策に対する考え方に注目すべきであると考えています。

当ファンドでは特に高配当銘柄に着目し投資銘柄を厳選しています。しかし、単純に配当利回り水準のみに注目すると、成長力が乏しく、万年割安な銘柄（株価上昇が見込めない銘柄）を選択する懸念があります。そのため、個別企業の徹底した調査・分析を実施し、企業の資本政策を見極め、配当利回りが高いだけでなく、成長性が見込め、かつ、株価の上昇が期待できる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

今後も個別企業との面談に力点を置き、企業の配当政策や成長戦略を把握した上で、事業の収益性と安定性のバランス、今後の利益成長も見込める企業を厳選し、投資を行う方針です。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

### ■ 組入ファンド

	第84期末 2020年7月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X ・オープン・クラス	98.1%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

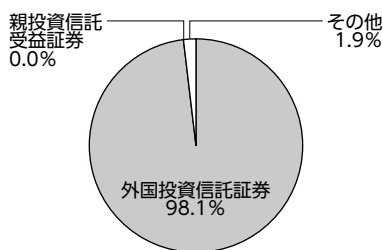
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■ 純資産等

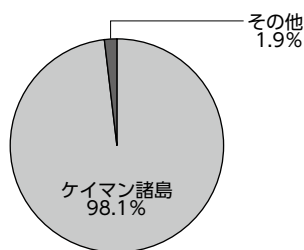
項目	第79期末 2020年2月20日	第80期末 2020年3月23日	第81期末 2020年4月20日	第82期末 2020年5月20日	第83期末 2020年6月22日	第84期末 2020年7月20日
純資産総額	7,161,546,481円	4,866,435,431円	5,418,290,854円	5,362,133,886円	5,536,094,456円	5,588,770,795円
受益権総口数	7,965,468,974口	7,891,451,152口	7,858,650,945口	7,797,958,744口	7,782,908,279口	7,717,082,582口
1万口当たり基準価額	8,991円	6,167円	6,895円	6,876円	7,113円	7,242円

(注) 当作成期間（第79期～第84期）中における追加設定元本額は80,065,277円、同解約元本額は450,171,145円です。

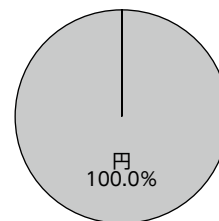
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第14期末 2020年7月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	98.0%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

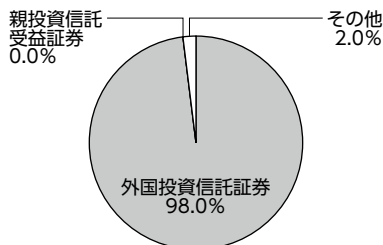
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

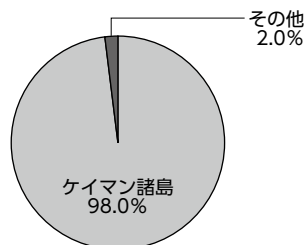
項目	第14期末 2020年7月20日
純資産総額	2,183,778,426円
受益権総口数	1,954,594,759口
1万口当たり基準価額	11,173円

(注) 当期間中における追加設定元本額は38,505,345円、同解約元本額は173,622,273円です。

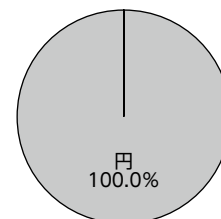
### 資産別配分



### 国別配分



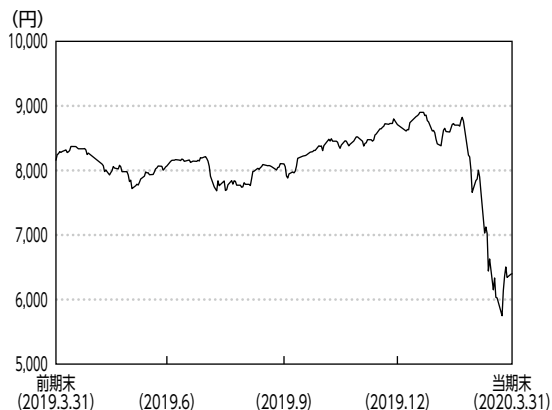
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラスの概要

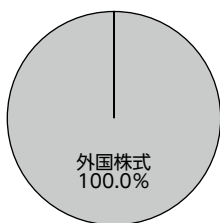
## ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



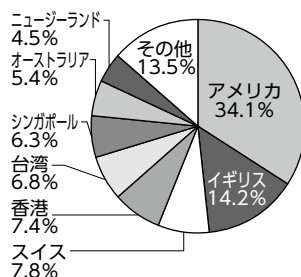
## ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
AT&T INC	米ドル	5.3%
GENERAL MILLS INC	米ドル	4.9%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	台湾ドル	4.9%
NATIONAL GRID PLC	イギリス・ポンド	4.6%
SPARK NEW ZEALAND LTD	ニュージーランド・ドル	4.5%
GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス・ポンド	4.4%
COCA-COLA CO/THE	米ドル	4.4%
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCH	スイス・フラン	4.2%
INTL BUSINESS MACHINES CO	米ドル	3.9%
SWISS RE AG	スイス・フラン	3.5%
組入銘柄数		47

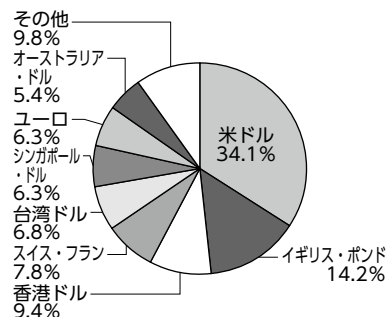
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

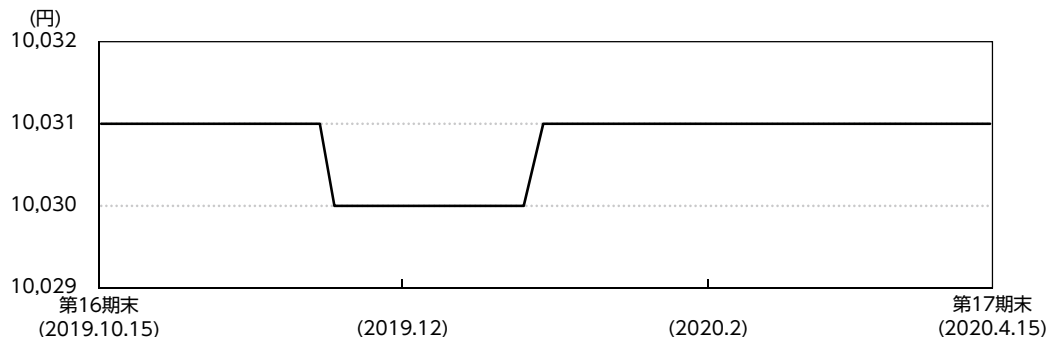
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2020年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券のポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万円当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

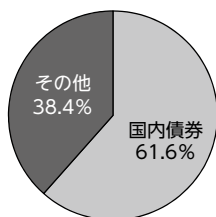
銘柄名	通貨	比率
第45回 川崎市公募債(5年)	円	21.8%
平成22年度第1回 岡山県公募債	円	19.9
第88回 共同発行市場公募地方債	円	19.9
組入銘柄数	3	

### ■ 1万口当たりの費用明細

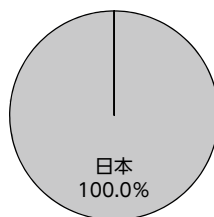
2019.10.16~2020.4.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

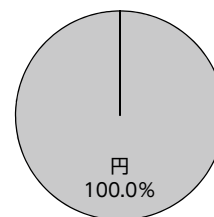
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2020年4月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

### 最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
55期 (2018年 2月20日)	9,537	50	△ 6.0	12,237	97.9	0.0	10,402
56期 (2018年 3月20日)	9,363	50	△ 1.3	12,113	98.0	0.0	10,158
57期 (2018年 4月20日)	9,426	50	1.2	12,226	98.0	0.0	10,061
58期 (2018年 5月21日)	9,520	50	1.5	12,370	98.0	0.0	10,076
59期 (2018年 6月20日)	9,256	50	△ 2.2	12,156	98.1	0.0	9,645
60期 (2018年 7月20日)	9,480	50	3.0	12,430	98.0	0.0	9,769
61期 (2018年 8月20日)	9,209	50	△ 2.3	12,209	98.0	0.0	9,428
62期 (2018年 9月20日)	9,410	50	2.7	12,460	98.4	0.0	9,613
63期 (2018年10月22日)	9,033	50	△ 3.5	12,133	98.1	0.0	9,182
64期 (2018年11月20日)	9,026	50	0.5	12,176	97.7	0.0	9,143
65期 (2018年12月20日)	8,697	50	△ 3.1	11,897	97.5	0.0	8,615
66期 (2019年 1月21日)	8,689	50	0.5	11,939	98.1	0.0	8,651
67期 (2019年 2月20日)	8,901	50	3.0	12,201	97.6	0.0	8,832
68期 (2019年 3月20日)	9,098	50	2.8	12,448	98.1	0.0	8,882
69期 (2019年 4月22日)	9,145	50	1.1	12,545	97.9	0.0	8,764
70期 (2019年 5月20日)	8,765	50	△ 3.6	12,215	98.0	0.0	8,294
71期 (2019年 6月20日)	8,693	50	△ 0.3	12,193	98.2	0.0	8,129
72期 (2019年 7月22日)	8,761	50	1.4	12,311	98.2	0.0	8,070
73期 (2019年 8月20日)	8,383	50	△ 3.7	11,983	98.4	0.0	7,576
74期 (2019年 9月20日)	8,563	50	2.7	12,213	98.0	0.0	7,544
75期 (2019年10月21日)	8,680	50	2.0	12,380	98.3	0.0	7,505
76期 (2019年11月20日)	8,843	50	2.5	12,593	98.2	0.0	7,486
77期 (2019年12月20日)	9,020	50	2.6	12,820	97.6	0.0	7,373
78期 (2020年 1月20日)	9,181	50	2.3	13,031	98.1	0.0	7,424
79期 (2020年 2月20日)	8,991	50	△ 1.5	12,891	98.1	0.0	7,161
80期 (2020年 3月23日)	6,167	50	△30.9	10,117	97.9	0.0	4,866
81期 (2020年 4月20日)	6,895	50	12.6	10,895	98.0	0.0	5,418
82期 (2020年 5月20日)	6,876	50	0.4	10,926	98.1	0.0	5,362
83期 (2020年 6月22日)	7,113	50	4.2	11,213	98.2	0.0	5,536
84期 (2020年 7月20日)	7,242	50	2.5	11,392	98.1	0.0	5,588

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。



## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
第79期	(期首) 2020年1月20日	円 9,181	% -		% 98.1	% 0.0
	1月末	8,755	△ 4.6		98.2	0.0
	(期末) 2020年2月20日	9,041	△ 1.5		98.1	0.0
第80期	(期首) 2020年2月20日	8,991	-		98.1	0.0
	2月末	8,223	△ 8.5		98.4	0.0
	(期末) 2020年3月23日	6,217	△30.9		97.9	0.0
第81期	(期首) 2020年3月23日	6,167	-		97.9	0.0
	3月末	6,533	5.9		98.2	0.0
	(期末) 2020年4月20日	6,945	12.6		98.0	0.0
第82期	(期首) 2020年4月20日	6,895	-		98.0	0.0
	4月末	6,920	0.4		98.1	0.0
	(期末) 2020年5月20日	6,926	0.4		98.1	0.0
第83期	(期首) 2020年5月20日	6,876	-		98.1	0.0
	5月末	7,049	2.5		97.8	0.0
	(期末) 2020年6月22日	7,163	4.2		98.2	0.0
第84期	(期首) 2020年6月22日	7,113	-		98.2	0.0
	6月末	7,077	△ 0.5		98.4	0.0
	(期末) 2020年7月20日	7,292	2.5		98.1	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

売買および取引の状況

2020年1月21日～2020年7月20日

(1) 投資信託証券

	第79期～第84期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 5,764	千円 369,172	千口 8,104	千円 527,580

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第79期～第84期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2020年1月21日～2020年7月20日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2020年7月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第78期末	第84期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 89,508	千口 87,167	千円 5,481,087	% 98.1
合計	89,508	87,167	5,481,087	98.1

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第78期末	第84期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,362千口です。

## ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

### 投資信託財産の構成

2020年7月20日現在

項目	第84期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 5,481,087	% 97.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	154,040	2.7
投資信託財産総額	5,635,138	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2020年2月20日)	(2020年3月23日)	(2020年4月20日)	(2020年5月20日)	(2020年6月22日)	(2020年7月20日) 現在
	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
<b>(A) 資産</b>	<b>7,218,827,913円</b>	<b>4,919,091,807円</b>	<b>5,462,548,554円</b>	<b>5,411,332,955円</b>	<b>5,590,161,221円</b>	<b>5,635,138,097円</b>
コール・ローン等	137,944,951	155,296,041	152,470,876	149,758,796	155,400,241	154,040,587
NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・ オープン・クラス(評価額)	7,026,792,948	4,763,785,752	5,310,067,664	5,261,564,145	5,434,750,967	5,481,087,497
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,014	10,014	10,014	10,014	10,013	10,013
未収入金	54,080,000	-	-	-	-	-
<b>(B) 負債</b>	<b>57,281,432</b>	<b>52,656,376</b>	<b>44,257,700</b>	<b>49,199,069</b>	<b>54,066,765</b>	<b>46,367,302</b>
未払収益分配金	39,827,344	39,457,255	39,293,254	38,989,793	38,914,541	38,585,412
未払解約金	9,906,223	6,567,171	258	4,743,753	8,869,283	2,504,729
未払信託報酬	7,519,413	6,604,725	4,941,869	5,441,303	6,255,818	5,254,230
その他未払費用	28,452	27,225	22,319	24,220	27,123	22,931
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>7,161,546,481</b>	<b>4,866,435,431</b>	<b>5,418,290,854</b>	<b>5,362,133,886</b>	<b>5,536,094,456</b>	<b>5,588,770,795</b>
元本	7,965,468,974	7,891,451,152	7,858,650,945	7,797,958,744	7,782,908,279	7,717,082,582
次期繰越損益金△	803,922,493	△3,025,015,721	△2,440,360,091	△2,435,824,858	△2,246,813,823	△2,128,311,787
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,965,468,974口</b>	<b>7,891,451,152口</b>	<b>7,858,650,945口</b>	<b>7,797,958,744口</b>	<b>7,782,908,279口</b>	<b>7,717,082,582口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>8,991円</b>	<b>6,167円</b>	<b>6,895円</b>	<b>6,876円</b>	<b>7,113円</b>	<b>7,242円</b>

(注1) 当作成期首元本額 8,087,188,450円  
 当作成期中追加設定元本額 80,065,277円  
 当作成期中一部解約元本額 450,171,145円

(注2) 元本の欠損  
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,128,311,787円です。

## ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)

### 損益の状況

	(第79期 第80期 第81期)	2020年1月21日～2020年2月20日) 2020年2月21日～2020年3月23日) 2020年3月24日～2020年4月20日)	(第82期 第83期 第84期)	2020年4月21日～2020年5月20日) 2020年5月21日～2020年6月22日) 2020年6月23日～2020年7月20日)		
項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
<b>(A) 配当等収益</b>	62,161,368円	61,322,122円	61,256,686円	61,206,645円	61,151,495円	60,988,147円
受取配当金	62,166,909	61,330,276	61,261,198	61,212,180	61,158,767	60,991,393
受取利息	508	101	494	322	376	435
支払利息	△ 6,049	△ 8,255	△ 5,006	△ 5,857	△ 7,648	△ 3,681
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	△ 166,009,403	△ 2,242,564,519	555,017,186	△ 31,031,564	168,311,890	82,372,081
売買益	3,022,553	9,913,194	555,670,636	549,836	169,811,655	82,630,411
売買損	△ 169,031,956	△ 2,252,477,713	△ 653,450	△ 31,581,400	△ 1,499,765	△ 258,330
<b>(C) 信託報酬等</b>	△ 7,547,923	△ 6,632,022	△ 4,964,237	△ 5,465,544	△ 6,282,988	△ 5,277,180
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	△ 111,395,958	△ 2,187,874,419	611,309,635	24,709,537	223,180,397	138,083,048
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	△ 633,615,522	△ 776,100,980	△ 2,988,072,352	△ 2,395,261,906	△ 2,393,519,668	△ 2,189,065,324
(分配準備積立金)	( 1,433,058,394)	( 1,431,725,211)	( 1,439,557,953)	( 1,448,453,435)	( 1,455,461,722)	( 1,462,536,134)
(繰越欠損金)	(△ 2,066,673,916)	(△ 2,207,826,191)	(△ 4,427,630,305)	(△ 3,843,715,341)	(△ 3,848,981,390)	(△ 3,651,601,458)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	△ 19,083,669	△ 21,583,067	△ 24,304,120	△ 26,282,696	△ 37,560,011	△ 38,744,099
(配当等相当額)	( 830,449,302)	( 825,406,590)	( 823,362,129)	( 818,294,051)	( 823,630,585)	( 817,669,672)
(売買損益相当額)	(△ 849,532,971)	(△ 846,989,657)	(△ 847,666,249)	(△ 844,576,747)	(△ 861,190,596)	(△ 856,413,771)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	△ 764,095,149	△ 2,985,558,466	△ 2,401,066,837	△ 2,396,835,065	△ 2,207,899,282	△ 2,089,726,375
<b>(H) 収益分配金</b>	△ 39,827,344	△ 39,457,255	△ 39,293,254	△ 38,989,793	△ 38,914,541	△ 38,585,412
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	△ 803,922,493	△ 3,025,015,721	△ 2,440,360,091	△ 2,435,824,858	△ 2,246,813,823	△ 2,128,311,787
追加信託差損益金	△ 19,083,669	△ 21,583,067	△ 24,304,120	△ 26,282,696	△ 37,560,011	△ 38,744,099
(配当等相当額)	( 830,449,302)	( 825,406,590)	( 823,362,129)	( 818,294,051)	( 823,630,585)	( 817,669,672)
(売買損益相当額)	(△ 849,532,971)	(△ 846,989,657)	(△ 847,666,249)	(△ 844,576,747)	(△ 861,190,596)	(△ 856,413,771)
分配準備積立金	1,447,844,495	1,446,958,056	1,461,027,940	1,465,204,743	1,476,024,260	1,482,693,957
繰越欠損金	△ 2,232,683,319	△ 4,450,390,710	△ 3,877,083,911	△ 3,874,746,905	△ 3,685,278,072	△ 3,572,261,645

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,613,445円	54,690,100円	60,763,241円	55,741,101円	59,477,079円	58,743,235円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	830,449,302円	825,406,590円	823,362,129円	818,294,051円	823,630,585円	817,669,672円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,433,058,394円	1,431,725,211円	1,439,557,953円	1,448,453,435円	1,455,461,722円	1,462,536,134円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	2,318,121,141円	2,311,821,901円	2,323,683,323円	2,322,488,587円	2,338,569,386円	2,338,949,041円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	2,910.21円	2,929.53円	2,956.85円	2,978.33円	3,004.75円	3,030.87円
(g) 分配金	39,827,344円	39,457,255円	39,293,254円	38,989,793円	38,914,541円	38,585,412円
(h) 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

## ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
10期 (2018年7月20日)	12,670	0	△ 4.1	12,670	98.4	0.0	3,639
11期 (2019年1月21日)	12,003	0	△ 5.3	12,003	98.5	0.0	3,179
12期 (2019年7月22日)	12,515	0	4.3	12,515	98.1	0.0	3,004
13期 (2020年1月20日)	13,573	0	8.5	13,573	98.0	0.0	2,836
14期 (2020年7月20日)	11,173	0	△17.7	11,173	98.0	0.0	2,183

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
(期首) 2020年1月20日	13,573	—	98.0	0.0
1月末	12,944	△ 4.6	98.0	0.0
2月末	12,228	△ 9.9	98.0	0.0
3月末	9,786	△27.9	98.2	0.0
4月末	10,445	△23.0	98.4	0.0
5月末	10,721	△21.0	98.5	0.0
6月末	10,841	△20.1	98.8	0.0
(期末) 2020年7月20日	11,173	△17.7	98.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2020年1月21日～2020年7月20日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 2,842	千円 191,059	千口 2,960	千円 186,670

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2020年1月21日～2020年7月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2020年7月20日現在

## (1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 34,166	千口 34,048	千円 2,140,999	% 98.0
合計	34,166	34,048	2,140,999	98.0

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,362千口です。

## 投資信託財産の構成

2020年7月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 2,140,999	% 97.4
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	56,760	2.6
投資信託財産総額	2,197,770	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。



ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月20日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,197,770,005円</b>
コール・ローン等	56,760,488
N A M・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス(評価額)	2,140,999,504
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,013
<b>(B) 負債</b>	<b>13,991,579</b>
未払信託報酬	13,909,353
その他未払費用	82,226
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,183,778,426</b>
元本	1,954,594,759
次期繰越損益金	229,183,667
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,954,594,759口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>11,173円</b>
(注) 期首元本額	2,089,711,687円
期中追加設定元本額	38,505,345円
期中一部解約元本額	173,622,273円

損益の状況

当期 (2020年1月21日~2020年7月20日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>138,762,217円</b>
受取配当金	138,775,174
受取利息	920
支払利	△ 13,877
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 592,153,626</b>
売買益	50,523,661
売買損	△ 642,677,287
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 13,991,915</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 467,383,324</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>568,398,035</b>
(分配準備積立金)	( 1,253,834,124)
(繰越欠損金)	(△ 685,436,089)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>128,168,956</b>
(配当等相当額)	( 194,374,212)
(売買損益相当額)	(△ 66,205,256)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>229,183,667</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>229,183,667</b>
追加信託差損益金	128,168,956
(配当等相当額)	( 194,374,212)
(売買損益相当額)	(△ 66,205,256)
分配準備積立金	1,378,604,426
繰越欠損金	△ 1,277,589,715

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	124,770,302円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	194,374,212円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,253,834,124円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	1,572,978,638円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	8,047.59円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■運用体制の変更について

代表取締役社長に大関洋が就任いたしました。

(2020年3月25日)

## ■《毎月決算型》の自社の実質保有比率

2020年6月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■《年2回決算型》の自社の実質保有比率

2020年6月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		毎月決算型	年2回決算型
商 品 分 類		追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間		2013年7月23日～2023年7月20日	
運 用 方 針		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート（不動産投資信託）等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ世界高配株ファンド	「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	日本を含む各国の株式およびリート等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

以下は、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2020年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2019年4月1日～2020年3月31日）

<NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス  
/カレンシー・セレクト・クラス>

	(円)
<b>収益</b>	
配当金	692,696,620
受取利息	12,311,326
外国為替取引益（損）	(28,009,556)
有価証券取引益（評価損益を含む）	(2,948,333,471)
<b>収益（損失）合計</b>	(2,271,335,081)
<b>費用</b>	
管理事務代行報酬	7,794,400
管理報酬	69,184,522
年次規制手数料	644,551
名義書換代行報酬	4,079,174
信託報酬	3,426,945
監査報酬	3,899,507
外部専門家支払報酬	6,122,981
受託者報酬	2,182,112
取引費用	21,342,081
サービス手数料	484,304
<b>費用合計</b>	119,160,577
<b>税引前利益（損失）</b>	(2,390,495,658)
<b>源泉税</b>	(118,414,764)
<b>運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純減（受益者に対する分配前）</b>	(2,508,910,422)
<b>受益者に対する分配</b>	(2,085,031,677)
<b>運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純減</b>	(4,593,942,099)

(2) 投資有価証券明細表 (2020年3月31日現在)  
NAM GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY FUND

Description	Holding / Shares	Issue/ Settle Curr	Market Value (Base)
AT&T INC	133,289.0000	U S D	419,450,972.00
GENERAL MILLS INC	69,158.0000	U S D	393,983,338.00
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	399,000.0000	T W D	390,267,411.00
NATIONAL GRID PLC	291,604.0000	G B P	369,471,752.00
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,373,509.0000	N Z D	359,090,193.00
GLAXOSMITHKLINE PLC	172,981.0000	G B P	350,685,347.00
COCA-COLA CO/THE	72,787.0000	U S D	347,708,599.00
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCH	9,640.0000	C H F	337,771,059.00
INTL BUSINESS MACHINES CO	26,031.0000	U S D	311,736,892.00
SWISS RE AG	33,875.0000	C H F	281,794,042.00
PHILIP MORRIS INTERNATION	28,102.0000	U S D	221,345,344.00
MOWI ASA	127,326.0000	N O K	207,667,879.00
WELLTOWER INC	41,769.0000	U S D	206,432,562.00
ASCENDAS INDIA TRUST	2,222,700.0000	S G D	202,232,163.00
VEOLIA ENVIRONNEMENT	70,941.0000	E U R	163,655,056.00
ASTRAZENECA PLC	16,714.0000	G B P	161,435,181.00
SIEMENS AG-REG	17,476.0000	E U R	160,372,627.00
STELLA INTERNATIONAL	1,364,500.0000	H K D	154,888,367.00
IND & COMM BK OF CHINA-H	2,090,000.0000	H K D	154,571,158.00
HKBN LTD	896,000.0000	H K D	152,748,545.00
GETAC TECHNOLOGY CORP	1,012,000.0000	T W D	152,632,161.00
DOW INC	47,327.0000	U S D	149,394,524.00
TABCORP HOLDINGS LTD	800,188.0000	A U D	133,761,192.00
CHEVRON CORP	16,281.0000	U S D	127,358,443.00
DALI FOODS GROUP CO LTD	1,692,000.0000	H K D	127,257,027.00
ROYAL DUTCH SHELL PLC-B S	69,390.0000	G B P	126,297,045.00
RIO TINTO PLC	25,143.0000	G B P	125,142,880.00
TRANSURBAN GROUP	151,462.0000	A U D	120,489,097.00
IRON MOUNTAIN INC	45,333.0000	U S D	116,476,887.00
FIRST REAL ESTATE INVNT TR	2,199,200.0000	S G D	113,386,610.00
ACCORDIA GOLF TRUST	2,908,200.0000	S G D	106,943,438.00
RURAL FUNDS GROUP	827,026.0000	A U D	103,549,010.00
INDUSTRIA DE DISENO TEXTI	34,468.0000	E U R	96,601,857.00
VODACOM GROUP LTD	131,670.0000	Z A R	93,126,208.00
SFL CORP LTD	89,820.0000	U S D	91,827,205.00
NEWELL BRANDS INC	60,910.0000	U S D	87,324,279.00
ARES CAPITAL CORP	72,870.0000	U S D	84,803,908.00
MACQUARIE KOREA INFRA FUN	87,266.0000	K R W	83,965,736.00
CHINA MOBILE LTD	101,500.0000	H K D	81,499,136.00
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	56,849.0000	E U R	79,556,277.00
SINGAPORE TELECOMMUNICATI	411,500.0000	S G D	79,248,616.00
XTEP INTERNATIONAL HOLDIN	2,153,000.0000	H K D	76,466,615.00
PROSPECT CAPITAL CORP	164,520.0000	U S D	75,484,184.00
MACQUARIE GROUP LTD	12,856.0000	A U D	72,837,925.00
FOOT LOCKER INC	21,623.0000	U S D	51,472,217.00
BTS RAIL MASS TRANSIT FUN	1,728,400.0000	T H B	39,799,732.00
ANNALY CAPITAL MANAGEMENT	67,181.0000	U S D	36,770,773.00

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 17 期

(計算期間：2019年10月16日～2020年4月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



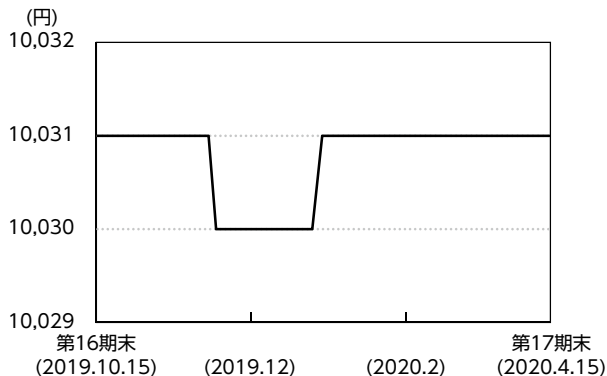
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2019年10月16日～2020年4月15日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
13期(2018年4月16日)	10,032	0.0	79.2	50
14期(2018年10月15日)	10,032	0.0	79.4	50
15期(2019年4月15日)	10,031	△0.0	79.4	50
16期(2019年10月15日)	10,031	0.0	79.4	50
17期(2020年4月15日)	10,031	0.0	61.6	50

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2019年10月15日	10,031	—	79.4
10月末	10,031	0.0	79.4
11月末	10,031	0.0	59.6
12月末	10,030	△0.0	79.5
2020年1月末	10,031	0.0	59.6
2月末	10,031	0.0	59.6
3月末	10,031	0.0	61.6
(期末)2020年4月15日	10,031	0.0	61.6

(注) 騰落率は期首比です。



1万口当たりの費用明細

2019年10月16日～2020年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,031円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2019年10月16日～2020年4月15日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 21,111	千円 -
	特殊債券	-	(20,000)
			(10,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2019年10月16日～2020年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第45回 川崎市公募公債(5年)	11,007	-	-
平成22年度第1回 岡山県公募公債	10,103		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2020年4月15日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	31,000 (31,000)	31,099 (31,099)	61.6 (61.6)	—	—	—	61.6 (61.6)
合計	31,000 (31,000)	31,099 (31,099)	61.6 (61.6)	—	—	—	61.6 (61.6)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第88回 共同発行市場公募地方債	1.1700	2020/7/24	10,000	10,030
	第45回 川崎市公募公債(5年)	0.1160	2020/9/18	11,000	11,006
	平成22年度第1回 岡山県公募公債	1.0500	2020/11/30	10,000	10,062
	合計	—	—	—	31,099

## 投資信託財産の構成

2020年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	31,099	61.6
コール・ローン等、その他	19,417	38.4
投資信託財産総額	50,516	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月15日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>50,516,815円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評価額)	19,361,461
公 社 債 (評価額)	31,099,145
未 収 利 息	54,632
前 払 費 用	1,577
<b>(B)負債</b>	<b>16</b>
未 払 解 約 金	5
そ の 他 未 払 費 用	11
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>50,516,799</b>
元 本	50,362,754
次 期 繰 越 損 益 金	154,045
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>50,362,754口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,031円</b>

(注1) 期首元本額 50,402,863円  
 期中追加設定元本額 ー円  
 期中一部解約元本額 40,109円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,953,774円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジあり)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Cコース(為替ヘッジあり)	9,984円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型)	9,969円
ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
ニッセイコムジエスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイコムジエスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2019年10月16日～2020年4月15日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>164,286円</b>
受 取 利 息	168,815
支 払 利 息	△ 4,529
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>△166,175</b>
売 買 損 益	△166,175
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 186</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 2,075</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>156,240</b>
<b>(F)解約差損益金</b>	<b>△ 120</b>
<b>(G)合計(D+E+F)</b>	<b>154,045</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>154,045</b>

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。